

取組 [1] ダイバーシティ研究環境整備強化

1 研究支援員の配置

広島大学に所属する研究者が、妊娠・育児・介護により研究時間の確保が困難になった際に、研究者の指示の下に研究補助業務に従事する研究支援員を配置することで、研究とライフイベントの両立を推進することを目的として2017（平成29）年度から支援を行っている。この制度は同時に、研究支援員にとっても将来についての様々な学びや自身の研究に関わる貴重な経験を得ることができる機会となっている。

対象者

本学と雇用契約を結び、本学を主たる研究の場としている大学教員（教授、准教授、講師、助教、助手）及びフルタイム勤務の教育研究系契約職員（特任教員、寄附講座等教員、病院助教、研究員、特別研究員、病院診療医及び共同研究講座等教員に限る。）のうち、次の①～④の申請要件をすべて満たす者。

申請要件

- ① 妊娠中の者、12歳に達する日以後最初の3月31日までの同居の子を養育している者又は介護認定（要支援認定を含む。）を受けている一親等以内の同居の親族を介護している者
- ② 配偶者がフルタイムで勤務している者、単身者、又は配偶者のいない者
*申請者が男性の場合は、配偶者が大学、大学共同利用機関又は独立行政法人等で研究者としてフルタイムで勤務している者
- ③ 産前産後休暇、育児休業、介護休業、その他休業・休職中でない者（ただし、配偶者のいる者にあつては、配偶者も同様とする。）
- ④ 年間500万円以上の外部資金の採択を受けていない者

支援実績

2020（令和2）年8月～2021（令和3）年1月の実績

■利用者性別・役職

	計	教授	准教授	助教・特任助教	その他（研究員等）
男性	1	0	0	1	0
女性	9	0	5	2	2

■申請理由

	妊娠	育児	介護
男性	—	1	0
女性	0	9	0

支援内容

文献収集、文献調査補助、インタビュー調査補助、資料整理、実験補助（材料分析、測定、Real time PCR、等）、実験使用器具の洗浄、データ入力、データ分析、解析、資料作成、研究成果の整理、等

利用者の声／研究推進における効果（抜粋）

- 学内講義、演習、学外実習等、教育活動の負担が大きく、研究に着手できる時間は大変限られているが、研究支援員を配置していただいたおかげで、助成金の申請や学術論文投稿準備が進み、研究と教育を両立することができた。（医系教員）
- 入力作業のような、単純ではあるが研究を遂行するうえで重要であり、時間が掛かる作業を支援してもらうことができた。また、他の人の意見を聞く機会にもなり、参考になった。（文系教員）
- ルーチンワークを担当してもらったおかげで研究アイデアの構想や報告書、論文作成に時間をより多く使うことができ、結果として研究がより進展した。本年度は評価会で審査に合格し事業が継続できることになった。（理系教員）
- 支援によりデータ収集から解析結果を得るまでの時間が短縮でき、学会での公表や投稿論文の作成などの、研究成果公表のための作業が可能になった。（医系教員）
- 今まで手が付けられていなかったデータを研究支援員のおかげで整理された形で得ることができ、来年度は新たなデータを使った研究成果を上げることが期待される。（文系教員）

研究支援員の声／従事した感想(抜粋)

- 研究について知らないことをたくさん教えていただけることがとてもよかった。(医系学生(3年生))
- 学生実験前から同様の内容を体験できたことはとても助かった。多くの仕事を覚えるうちに始めはよく分かっていなかった各作業の意義を理解し、一連の流れとして見えるようになった。来年度からの研究室でも大いに役立つ経験だと思う。(理系学生(3年生))
- 今回支援させて頂いたのは自身の研究と同じ分野であったが、異なる研究方法及び研究対象をとる先生の手伝いをさせて頂いたことで新たな学びや発見があった。(文系学生(D2生))
- 研究支援員として働く緊張感がプラスに働き、従事内容に適性があると感じられたので研究職を目指す後押しになった。(理系学生(M2生))
- 文献検索を行ったことで自身が論文を作成する時の視野が広がった。子育てをしながら仕事や研究をする姿に触れ、自身の進路についても考えるきっかけとなった。(医系支援員)

2 小学校休業期間中の学童保育

広島大学の構成員の就業と家庭生活の両立支援を目的として、小学校の長期休業中(春季・夏季・冬季)に、東広島地区(東広島キャンパス)と広島地区(霞キャンパス)で学童保育(子どもクラブ)を開設している。業者委託により、指導員(委託業者)と学生サポーター(広島大学で教職課程を履修中の学生などを委託業者で雇用)で運営。学内施設等での体験学習(春はハイキング、夏はザリガニ釣り、冬はしめ縄づくりや焼き芋づくりなど)や屋内・屋外運動支援などを行い、本学学生の実習の場にもなっている。また、新型コロナウイルス感染症防止のため、小学校の一斉臨時休業が実施されたことに伴い、東広島地区及び広島地区にて臨時開設を行った。

	東広島地区(東広島キャンパス)	広島地区(霞キャンパス)
春季 子ども クラブ	期 間／2020(令和2)年3月26日～4月7日(平日8:00～19:00)	期 間／2020(令和2)年3月26日～4月6日(平日8:00～19:00)
	保 育 実 績／本学教職員の学童18名(新小学校1年生から6年生・卒業生も含む)	保 育 実 績／本学教職員の学童41名(新小学校1年生から6年生・卒業生も含む)
夏季 子ども クラブ	期 間／2020(令和2)年8月3日～8月7日(平日8:00～19:00)	期 間／2020(令和2)年8月11日～8月21日(平日8:00～19:00)
	保 育 実 績／本学教職員の学童12名(小学校1年生から6年生)	保 育 実 績／本学教職員の学童26名(新小学校1年生から6年生・卒業生も含む)
冬季 子ども クラブ	期 間／2020(令和2)年12月28日・2021(令和3)年1月4日・5日(8:00～19:00)	期 間／2020(令和2)年12月28日・2021(令和3)年1月4日(8:00～19:00)
	保 育 実 績／本学教職員の学童6名(小学校1年生から6年生)	保 育 実 績／本学教職員の学童16名(小学校1年生から6年生)

	東広島地区(東広島キャンパス)	広島地区(霞キャンパス)
臨時 子ども クラブ	期 間／2020(令和2)年3月5日～3月25日(平日8:15～17:30)	期 間／2020(令和2)年3月5日～3月25日(平日8:15～17:30)
	保 育 実 績／本学教職員の学童13名(小学校1年生から6年生)	保 育 実 績／本学教職員の学童17名(小学校1年生から6年生)
	期 間／2020(令和2)年4月16日～4月21日(平日8:15～17:30)	期 間／2020(令和2)年4月15日～6月5日(平日8:15～17:30)
	保 育 実 績／本学教職員の学童9名(小学校1年生から6年生)	保 育 実 績／本学教職員の学童19名(小学校1年生から6年生)



↑学内のビオトープでザリガニ釣り



↑野鳥観察

参加者の声(抜粋)

- 安心して仕事ができるので、大変助かっている。(保護者)
- 帰りに、今日は何をしたかを嬉しそうにずっと話してくれた。ザリガニ釣りもとてもよかったとのこと。(保護者)
- 体調を見ながら子どもたちの運動不足やストレスなどを緩和させていただきありがたい。(保護者)
- 学校以外の子と交流できて嬉しかった。(学童)
- 家ではできない焼き芋や、しめ縄ができて楽しかった。(学童)



↑大学近隣の山へハイキング



↑学内の植物園でしめ縄づくり

3 病後児保育利用料補助事業

広島大学の教職員の子(6歳に達する日以降の最初の3月31日までの間にある子)が病気や怪我の回復期にあるため集団保育が困難な期間について、病後児保育施設を利用した際に支払った利用料の3分の2を超えない額(10円未満切り捨て)と1,000円のいずれか低い額を、利用料補助として、1人につき、年間16回まで支援している。

令和2(2020)年度 病後児保育利用料 補助事業について



※事業は、広島大学の教職員の子(6歳に達する日以降の最初の3月31日までの間にある子)以下、
【利用対象】という3つの条件を満たす期間に限り、かつ、病後児保育施設を利用していること、病後児
保育施設を利用した期間の開始日から開始するまでです。

※実施期間は一年度です。

補助対象は、乳幼児一人当たり「最大16回(一年度)」です。
請求書の提出時期は別途決定します。

【実施期間】令和2(2020)年4月1日～令和3(2021)年3月31日(明後日)

【利用対象者】広島大学に在籍する乳幼児のうち、学内外の保育施設を利用している者、又は託児、
介護等の手段により、その保育すべき乳幼児を家庭で保育することができない者

【補助対象】3つの条件を満たす期間、費用負担で、下記の条件を満たしていること
①病後児保育施設を利用していること
②保育施設が受け入れ利用料金の徴収
③保育料は、令和2年度に発生した保育料の3分の2を超えない(10円未満の端数は切り捨て)

※病後児保育施設とは「病後児保育施設利用料補助事業実施要綱」に基づき、
病後児保育施設(認可外保育施設)の名称、又は名称のない、病後児保育施設としての
認定を受けた施設を指します。認定・認定内容に不足がある場合は、受理いたしません。

【補助金額】下記A、Bのいずれか低い額
A. 病後児保育施設に支払った費用の3分の2を超えない(10円未満の端数は切り捨て)
B. 1,000円

【補助回数】乳幼児1人当たり実施期間中16回(16日を範囲)まで



事業の詳情、申込書は男女共同参画推進課のHPをご覧ください
【URL】<https://www.hiroshima-u.ac.jp/gender/works/kyosei/kyosei-support/>

※お申し込みは男女共同参画推進課(内線:高広4412、4399)
E-mail: kyosei-sen@office.hiroshima-u.ac.jp

4 キャリア継続支援

博士課程後期合格者の入学金不徴収

研究活動を中断中の修士の学位を有する女性で、本学の博士課程後期を受験して合格した者の入学金を不徴収とする経済的支援の募集を行った。(ダイバーシティ事業Webサイトに掲載、ダイバーシティ推進協会にて周知、メンバー機関や各研究科へメールで周知した。(各研究科の入試情報Webサイトに掲載))

■実績: 2020(令和2)年4月 入学者1名の入学金不徴収実施

キャリア・アドバンスメント・プロジェクト研究員(広島大学)の採用及び公募

キャリアを中断している博士号を有する女性のキャリア再開支援, 及び広島大学に在籍する研究者の配偶者の研究継続・再開・同居をサポートする「キャリア・アドバンスメント・プロジェクト研究員(CAP研究員)制度により、フルタイム1名を採用した。また、令和3年度採用のCAP研究員の公募を実施した。

	名称	CAP研究員(フルタイム)	CAP研究員(パートタイム)
公 募	対 象 者	キャリア中断中の博士号を有する女性	本学に在籍する研究者の配偶者(性別不問)
	目 的	研究継続を断念した女性研究者の研究活動の再開とキャリア形成を促進すること。(キャリア形成促進型)	配偶者の就職により自身のキャリアを断念した研究者のキャリア継続・再開を促進すること。(両立支援型)
	経 費	学長裁量経費	学長裁量経費
	雇 用 期 間	2021(令和3)年4月から1年間(更新なし)	2021(令和3)年4月から1年間(更新なし)※週10時間以内
採 用	採 用 部 局	大学院文学研究科(1名)	該当者なし
	雇 用 期 間	2020(令和2)年4月から1年間(更新なし)	

5 男女共同参画セミナー

- 日 時／2020(令和2)年11月6日(金) 10:30～12:00
- 場 所 東広島キャンパス総合科学部 K103講義室
- 講 師／真野 豊氏(日本学術振興会特別研究員PD, 広島修道大学非常勤講師)
- テ マ／多様な性の視点でつくる学校教育
- 参 加 者／48名(会場35名[広島大学], オンライン13名[うち広島大学11名])
- 内 容／同性愛を公表し中学校教員として勤務された講師ご自身の経験などを交え、学校現場での「多様な性」の取り扱いの現状やSOGIE※教育の重要性やその方法についてお話しいただいた。本セミナーは総合科学部専門教育科目「学問とジェンダー」の一環であるが、この日のみ公開とし、一般聴講者はオンラインで参加した。

※SOGIEとは「性的指向=Sexual Orientation」と「性自認=Gender Identity」と「性表現=Gender Expression」のこと

広島大学 男女共同参画セミナー

多様な性の視点でつくる 11/6 (金) 学校教育

SOGIE※も知らない方から、性多様性を尊重する必要性も明らか。対峙しないのは、なぜ学校現場で性的少数者を教育しないのか、ではないか、というところ。学校はここが重要な場。どのような教育が望ましいのか、カリキュラムの中にも組み込みたいのか。私の教育をカリキュラムに組み込む中で学校はどう変わるのか、中学校で教えた経験があり、福岡で性教育のプログラムを作成した真野豊先生を講師に迎え、「多様な性」という視点からあなたの学校についてお話を伺います。

講師：真野 豊(まの ゆたか)
【プロフィール】
広島大学総合科学部特別研究員PD、広島修道大学研究員講師
性教育を公認して広島中学校教員勤務の経験。
性教育推進員として、性多様性を尊重して子どもを育てる方法を、専門的に講演・実践活動に取り組む。2017年9月、東京大学にて「性多様性について」の講演。
現在は広島大学、東京大学、本学新職員、一般の方
を相手とした講演活動も行う。性多様性についてお話しください。
※本セミナーは「学問とジェンダー」の一環の一環ですが、この内容のみでも参加可能です。(参加費無料)

日 時 2020年11月6日(金) 10:30～12:00
場 所 広島大学 東広島キャンパス 総合科学部 K103講義室
参加方法 実況 同時開催 20名 オンライン参加 10名程度
対 象 学部生、大学院生、本学新職員、一般の方
※会場への参加は自由参加となります。一般の方はオンライン参加を推奨いたします。
※オンライン参加は10名程度です。参加費は無料です。
※講演は申し込みがなくても参加できます。講師から一人一人の質問を伺います。

申込方法 Webフォームから事前申し込み(先着順)
申込先 総合科学部 総合科学部 総合科学部 総合科学部
申込先 総合科学部 総合科学部 総合科学部 総合科学部
申込先 総合科学部 総合科学部 総合科学部 総合科学部
申込先 総合科学部 総合科学部 総合科学部 総合科学部

参加者の声(抜粋)

- 性は人権であるという考え方を教育で早い段階から行うことが必要であると思った。自分が若い世代に伝える立場になった時、どのように伝えて理解してもらおうか考えさせられた。また、大人も勉強することが必要だと感じた。
- 学校現場の具体的な事例について伺えたのでとても勉強になった。
- 当事者の説得力のある言葉を聞くことができた。
- 「個」を認めることの大切さを学んだ。
- 来年から教員になるので、よりよい教育実践を探っていきたい。



↑講師の真野 豊氏



↑講演の様子